



報道発表資料

2001年1月31日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、新世代 BtoB サーバー「Asteria for RosettaNet」を販売開始

～ 同時に、「Asteria for RosettaNet」の評価プログラムを実施 ～

インフォテリア株式会社（本社、：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎）は、インターネットベースの企業間電子商取引の標準規格のひとつである RosettaNet^{*1}（ロゼッタネット）に対応した BtoB^{*2}サーバー「Asteria for RosettaNet」（アステリア フォー ロゼッタネット）を 2001 年 1 月 31 日から、中小規模事業者向けに低コストかつ容易な導入を実現した世界初の BtoB ルーター「Asteria.Planet for RosettaNet」（アステリア プラネット フォー ロゼッタネット）を 2001 年 2 月 26 日から、それぞれ販売開始することを発表しました。

「Asteria for RosettaNet」は、国内初の RosetteNet 対応パッケージソフトウェアで、ソニー株式会社におけるパーソナル情報機器のグローバル資材調達システムにも正式採用されました。「Asteria.Planet for RosettaNet」は、OS、BtoB アプリケーション、RosettaNet プラグインなど RosettaNet 接続に必要な機能と環境をオール・イン・ワンでハードウェアにパッケージした世界初の製品です。「Asteria for RosettaNet」の価格は、2,400 万円（税別）からで、接続先企業数は無制限となります。「Asteria.Planet for RosettaNet」の価格は、95 万円（税別）で、取引先企業との接続のための 2 接続ライセンスを含みます。「Asteria.Planet for RosettaNet」の接続先企業の増加については 1 接続ライセンス 40 万円（税別）で、上限は合計 5 接続までとなります。

また、2001 年 2 月 26 日から 3 月末日までの「Asteria.Planet for RosettaNet」の購入者には無償で「Asteria for RosettaNet」を貸し出し提供する評価プログラムを実施します。提供する評価版は製品版と同等の機能を持っています。評価期間は 3 ヶ月間とし、期間中は 1 ヶ月につき 150 万円での技術サポートも提供します。

同プログラムの実施により、将来 RosettaNet による電子商取引業務の拡張を検討しているユーザー企業では、導入初期においては安価な「Asteria.Planet」の購入だけで、よりハイエンドなシステム環境の評価も行うことができます。また実際のシステム拡張時には上位互換によるスムーズなシステム移行が可能となります。

「Asteria」について

Asteria は、インターネットを介したサーバー対サーバーでのデータの入出力、データ形式の変換、ビジネストラナザクションの管理など、BtoB に必要な機能に最適化された強固なアーキテクチャを有しています。RosettaNet をはじめとする各種 BtoB フレームワークに対応したビジネスプロトコルを組み込むことで、異なるシステムを持った取引先との間で BtoB システムを構築したり、マーケットプレイスに接続することができます。内部モジュール間・インターネット側・イントラネット側との通信には、全てにおいて XML を採用した一貫性あるアーキテクチャを採用しており、取引先やマーケットプレイス、そして社内データベースや基幹システムなどとの高接続性を実現します。

<http://www.infoteria.com/jp/contents/product/asteria/>

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、1998 年、日本初の XML 専門ソフトウェア会社として設立された XML 分野のリーディングカンパニーです。東京と米ボストンに拠点を置き、世界市場に向けて XML 製品の開発と販売を行っています。インフォテリアでは、先進の XML テクノロジーをベースに XML の普及を促進するコンポーネント製品や、企業間電子商取引 (BtoB-EC) および企業間アプリケーション統合を XML ベースで行うためのソフトウェアを提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

#

<用語説明 / 注釈>

*1 B2B (ビートゥービー)	Business To Businessの略。企業間電子商取引の一般的呼称で、最近ではインターネットベースの企業間取引を特に指してB2Bと呼ぶことが多い。より多くの取引先を一元的に扱いたい反面、いずれか一方のシステムやソフトウェアに統一できないため、XMLをベースとした緩やかなデータ交換・システム連携が主流となる。
*2 RosettaNet	ハイテク業界で、製品から電子部品に至るまでのサプライチェーンを標準化するために組織されたコンソーシアム。 RosettaNet http://www.rosettanel.org/ ロゼッタネットジャパン http://www.rosettanel.gr.jp/

<お問い合わせ先>

記事掲載用：
info@infoteria.co.jp (電子メール)
<http://www.infoteria.com/> (ウェブサイト)

以上